

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承諾の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・人工中耳	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	8人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	0人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	0人
・神経変性疾患DNA診断	有・無	0人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	0人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	0人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	0人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	0人
・カフェイン併用化学療法	有・無	0人
・ ³¹ P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	0人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	0人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	0人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・無	0人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・無	0人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	0人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	0人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	0人
・膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・無	0人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	0人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	0人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	0人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	0人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	0人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	0人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	0人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・無	0人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	0人
・家庭性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	0人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	0人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	0人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	0人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	0人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	0人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	0人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	0人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	0人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	0人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	0人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	0人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	0人
・活性化血小板の検出	有・無	0人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	0人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	0人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	0人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	0人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	0人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・レーザー応用による齶蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
強度変調放射線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
胎児心超音波検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
超音波骨折治療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
眼底三次元画像解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	104 人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	9 人
・多発性硬化症	18 人	・ウェゲナー肉芽腫症	3 人
・重症筋無力症	39 人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	11 人
・全身性エリテマトーデス	106 人	・多系統萎縮症	6 人
・スモン	0 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0 人
・再生不良性貧血	17 人	・膿疱性乾癬	3 人
・サルコイドーシス	21 人	・広範脊柱管狭窄症	2 人
・筋萎縮性側索硬化症	17 人	・原発性胆汁性肝硬変	11 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	53 人	・重症急性膵炎	4 人
・特発性血小板減少性紫斑病	40 人	・特発性大腿骨頭壊死症	26 人
・結節性動脈周囲炎	10 人	・混合性結合組織病	5 人
・潰瘍性大腸炎	40 人	・原発性免疫不全症候群	1 人
・大動脈炎症候群	2 人	・特発性間質性肺炎	3 人
・ピュルガー病	6 人	・網膜色素変性症	19 人
・天疱瘡	3 人	・プリオン病	1 人
・脊髄小脳変性症	7 人	・原発性肺高血圧症	2 人
・クローン病	25 人	・神経繊維腫症	12 人
・難治性肝炎のうち劇症肝炎	0 人	・亜急性硬化性全脳炎	1 人
・悪性関節リウマチ	7 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0 人
・パーキンソン病関連疾患	64 人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0 人
・アミロイドーシス	2 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0 人
・後縦靭帯骨化症	14 人	・副腎白質ジストロフィー	1 人
・ハンチントン病	1 人		人

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に1回程度
剖検の状況	剖検症例数 49 例 剖検率 8.3 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価実績

1.研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
アレルギー疾患の自己管理と個別化医療を目指した早期診断基準と早期治療法の確立及びその有効性と有害事象の評価に関する研究	大田 健	内科	¥67,502,000	補委 厚生労働省
ガイドライン普及のための対策とそれに伴うQOLの向上に関する研究	大田 健	内科	¥2,000,000	補委 厚生労働省
アレルギー疾患の治療反応性予測因子の確立及びテーラーメイド治療法の確立に関する研究	大田 健	内科	¥3,400,000	補委 厚生労働省
呼気凝縮液を用いた気管支喘息の気道炎症評価法の確立と臨床応用に関する研究	大田 健	内科	¥1,500,000	補委 厚生労働省
成人喘息の寛解を目指した治療薬の減量・中止に関する研究	大田 健	内科	¥1,500,000	補委 厚生労働省
気管支喘息難治・重症化の病因・病態の解明に関する研究	大田 健	内科	¥1,400,000	補委 厚生労働省
特発性肺線維症の予後改善を目指したサイクロスポリン+ステロイド療法ならびにNアセチルシステイン吸入療法に関する臨床研究	大田 健	内科	¥800,000	補委 厚生労働省
びまん性肺疾患調査研究	大田 健	内科	¥400,000	補委 厚生労働省
大気汚染と感染の閉塞性呼吸器疾患への関与一喘息の病態における影響と発現機構	大田 健	内科	¥3,100,000	補委 (財)道路環境研究所
大気汚染による健康影響に関する総合的研究「成人気管支ぜん息患者の重症度等に応じた健康管理支援、保健指導の実践及び評価手法に関する調査研究(②)」	大田 健	内科	¥16,922,453	補委 (独行)環境再生保全機構
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	滝川 一	内科	¥1,500,000	補委 厚生労働省
膠原病に伴う中枢神経障害(ループス精神病)への既存治療法の評価・対策	廣畑 俊成	内科	¥1,500,000	補委 厚生労働省
関節リウマチ・骨粗鬆症の重症化防止治療開発研究	廣畑 俊成	内科	¥1,500,000	補委 厚生労働省
気道感染によるアレルギー性炎症増悪機構の解明	長瀬 洋之	内科	¥1,300,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
核内レセプターPPARを介して脂質がアレルギー性炎症に与える役割と機序の解明	植木 重治	内科	¥1,700,000	補委 文部科学省
身体不定愁訴とストレスマネジメントに関する日米共同研究の企画	中尾 睦宏	心療内科	¥3,400,000	補委 文部科学省
ニコチン依存の形成や持続に影響を与える身体・心理・行動学的要因に関する定量的評価	中尾 睦宏	心療内科	¥2,000,000	補委 喫煙科学財団
身体症状から見た自殺予防のアプローチ	中尾 睦宏	心療内科	¥40,000	補委 日本衛生学会
過重労働と多様化する雇用形態が労働者の健康に及ぼす影響に関する研究	中尾 睦宏	心療内科	¥4,000,000	補委 文部科学省
先天性筋ジストロフィーの分子発病機序の解析と治療法開発	清水 輝夫	神経内科	¥3,500,000	補委 文部科学省
筋ジストロフィーおよびその関連する疾患の病態生理の解明と治療薬物の開発に関する研究	清水 輝夫	神経内科	¥75,000,000	補委 国立精神・神経センター
先天性筋ジストロフィーにおける脱髄性ニューロパチー:分子発病機序の解明と治療法の開発	松村 喜一郎	神経内科	¥550,000	補委 国立精神・神経センター
筋強直性ジストロフィーの病態解明とRNAを介した治療	清水 輝夫	神経内科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
福山型先天性筋ジストロフィーと類縁疾患の分子発病機序の解析と治療法の開発	清水 輝夫	神経内科	¥11,000,000	補委 文部科学省
先天性筋ジストロフィーの病態解析ージストログリカンの細胞内外の分子架橋の検討ー	斉藤 史明	神経内科	¥1,700,000	補委 文部科学省
急性胆管炎、急性胆嚢炎、急性膵炎診療ガイドラインの効果的な普及に向けた使用后調査ならびに臨床研究:一般国民のEBMIに対する理解の促進とガイドラインの適正な普及・推進	高田 忠敬	外科	¥8,500,000	補委 厚生労働省
膵癌に対する炭素イオン線治療の第I/II相臨床試験	高田 忠敬	外科	¥150,000	(独行)放射線医学総合研究所 重粒子医科学センタ
肺線癌の診断および悪性腫瘍度予測のためのAcetate-PETの臨床応用研究	高浪 巖	外科	¥1,100,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
DNAマイクロアレイを用いた直腸癌放射線(化学)療法の個別化治療の確立	渡辺 聡明	外科	¥7,000,000	補委 文部科学省
粘膜免疫により誘導される特異的免疫制御T細胞の詳細な分画の特定と誘導機序の解析	新見 正則	外科	¥1,600,000	補委 文部科学省
血管作動性物質投与による食道癌手術時の消化管吻合をより安全にするための研究	池田 佳史	外科	¥1,600,000	補委 文部科学省
「根拠に基づく診療ガイドライン」の適切な作成・利用・普及に向けた基盤整備に関する研究:患者・医療消費者の参加推進に向けて	吉田 雅博	外科	¥1,800,000	補委 厚生労働省
「分子標的薬剤の反応性診断と治療用」(乳癌に対するアロマターゼ阻害剤の効果予測遺伝子群の同定に関する研究)	池田 正	外科	¥3,500,000	補委 文部科学省
腸癌の骨髄・末梢血・リンパ節における転移形成能を有する遊離癌細胞(Isolated tumor cell, ITC)の検出とその臨床応用	飯沼 久恵	外科	¥1,400,000	補委 厚生労働省
低出生体重児の乳幼児期に及ぼす亜鉛欠乏とその対策	児玉 浩子	小児科	¥400,000	補委 成長科学協会
低出生体重児の乳幼児期における必須微量元素必要量の検討	志賀 勝秋	小児科	¥500,000	補委 森永奉仕会
敗血症の新しい治療法の開発	中村 明夫	小児科	¥900,000	補委 文部科学省
小児敗血症に対するβ2アドレナリン受容体補充療法	中村 明夫	小児科	¥3,000,000	補委 川野小児医学財団
小児疾患における抗糖脂質抗体の分析	足田 敏之	小児科	¥1,000,000	補委 文部科学省
高機能広汎性発達障害児のための社会的認知能力検査の作成と適用	酒井 裕子	小児科	¥1,200,000	補委 文部科学省
「根拠に基づく診療ガイドライン」の適切な作成・利用・普及に向けた基盤整備に関する研究:患者・医療消費者の参加推進に向けて	松下 隆	整形外科	¥1,800,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
高密度骨髄間葉系細胞および骨形成因子を用いた移植方法の開発による関節軟骨の再生	高井 信朗	整形外科	¥1,200,000	①補委 厚生労働省
重粒子線治療プロジェクト	阿部 哲士	整形外科	¥180,000	①補委 科学技術庁
Ewing's/PENET腫瘍の分化傾向と予後との関係	阿部 哲士	整形外科	¥500,000	①補委 文部科学省
高悪性度軟部腫瘍に対する標準的治療法の確立に関する研究	阿部 哲士	整形外科	¥90,000	①補委 厚生労働省
同種血輸血安全性向上に伴う自己血輸血適応の再検討	脇本 信博	整形外科	¥100,000	①補委 厚生労働省
閉塞型睡眠時無呼吸症候群における体位依存症およびREM睡眠依存性について	鈴木 雅明	耳鼻咽喉科	¥600,000	①補委 文部科学省
先天性高度感音難聴児における中枢聴覚伝導路の発達に関する研究	佐野 真幸	耳鼻咽喉科	¥1,800,000	①補委 文部科学省
尋常性乾癬の病態における性ホルモンの役割及びその治療における性ホルモンの有用性	神田奈緒子	皮膚科	¥900,000	①補委 日本学術振興会
多発性嚢胞腎における分子標的治療創薬の研究	堀江 重郎	泌尿器科	¥1,400,000	①補委 日本学術振興会
男性ホルモン低下に起因する老年病の治療戦略とその機序に関する総合研究	堀江 重郎	泌尿器科	¥1,300,000	①補委 厚生労働省
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	堀江 重郎	泌尿器科	¥300,000	①補委 厚生労働省
浸潤性膀胱がんの予後改善をめざした集学的治療の研究	堀江 重郎	泌尿器科	¥400,000	①補委 厚生労働省
一卵性双生児統合失調症不一致例を用いた患者特異的Alu挿入領域の同定	南光進一郎	精神神経科	¥1,300,000	①補委 文部科学省
精神科在院患者の地域移行、定着、再入院防止のための技術開発と普及に関する研究	池淵恵美	精神神経科	¥1,100,000	①補委 文部科学省
統合失調症治療のガイドラインの作成とその検証に関する検討	池淵恵美	精神神経科	¥450,000	①補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
精神政策医療ネットワークによる統合失調症の治療および社会復帰支援に関する研究	池淵恵美	精神神経科	¥400,000	補委 文部科学省
統合失調症の病因として転移因子の役割	上野美華子	精神神経科	¥1,000,000	補委 文部科学省
統合失調症におけるレトロポゾンAluの病因的役割	赤羽晃寿	精神神経科	¥1,400,000	補委 厚生労働省
悪性脳腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究	藤巻高光	脳神経外科	¥500,000	補委 厚生労働省
神経膠腫の浸潤能におけるLPA産生酵素ATXの役割の解明	藤巻高光	脳神経外科	¥1,700,000	補委 文部科学省
瞳孔の対光反射により頭蓋内圧を非侵襲的に評価する工学的解析方法の開発と臨床応用	上野俊昭	脳神経外科	¥1,700,000	補委 文部科学省
機能性色素を用いた放射線インジケータによるIVR患者被ばく線量の検討	古井 滋	放射線科	¥3,100,000	補委 文部科学省
呼吸と疼痛との関連における侵害刺激受容イオンチャネルおよび遅延性起動遺伝子の関与	大島 勉	麻酔科	¥800,000	補委 文部科学省
脳梗塞時における睡眠・覚醒サイクル異常の解析 ーオレキシン動態からその機上に迫るー	福田 悟	麻酔科	¥11,600,000	補委 文部科学省
周術期医療に関する大規模データベースの構築とデータ解析	澤 智博	麻酔科	¥6,900,000	補委 文部科学省
情報工学等の連携による国民・患者のリテラシー向上に関する研究	中田 善規	麻酔科	¥24,750,000	補委 厚生労働省
症例登録を踏まえた病院共通のコンピューターシステムの開発とコストに関する研究	澤 智博	麻酔科	¥19,000,000	補委 厚生労働省
行政処分を受けた医療従事者の再教育の進め方に関する研究	澤 智博	麻酔科	¥1,500,000	補委 厚生労働省
救急医療評価スタンダードとスコアリングガイドラインを利用したベンチマーキングに関する研究	坂本 哲也	救命救急センター	¥6,500,000	補委 厚生労働省
自動体外式除細動器(AED)を用いた心疾患の救命率向上のための体制の構築に関する研究	坂本 哲也	救命救急センター	¥29,800,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
119番受信時における救急用トリアージの運用要領の作成	坂本 哲也	救命救急センター	¥6,000,000	補 ⑤委 総務省消防庁

計 72

- (注)1.国,地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2.「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3.「補助元又委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Mod Rheumatol 17:81 82, 2007.	HLA-B51 and cigarette smoking as risk factors for chronic progressive neurological manifestations in Behcet's disease.	Aramaki K	内科
Medical Education, 40: 1180-1187 (2006)	"Evaluating medical students' non-verbal communication during the objective structured clinical examination. "	Kinoshita M	内科
J. Atheroscler. Thromb. 14(1): 12-18 (2007)	"Plasmalogens in Human Serum Positively Correlate with High-Density Lipoprotein and Decrease with Aging"	Kinoshita M	内科
Int Immunol. 18(11):1575-83. 2006	Trans-basement membrane migration of human basophils: role of matrix metalloproteinase-9.	Ohta K	内科
Allergy. 61(9):1086- 96. 2006	Pharmacologic and anti-IgE treatment of allergic rhinitis ARIA update (in collaboration with GA2LEN). Allergy.	Ohta K	内科
Int Arch Allergy Immunol. 140 Suppl 1:23-7. 2006	Expression and function of toll-like receptors in human basophils.	Ohta K	内科
J Allergy Clin Immunol. 117(5):1040-6. 2006	Role of CCL21 and CCL19 in allergic inflammation in the ovalbumin-specific murine asthmatic model.	Ohta K	内科
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol. 290(6):L1045-51. 2006	Involvement of GATA-3-dependent Th2 lymphocyte activation in airway hyperresponsiveness.	Ohta K	内科
Respir Med. 100(3):542-50. 2006	Aminophilline suppress the release of chemical mediators in treatment of acute asthma.	Ohta K	内科
日本小児アレルギー学会 誌20(1):66-70,2006.	小児アレルギー疾患のEarly Intervention 気管支喘息 内科の立場から.	大田 健	内科
アレルギー・免疫13(10): 1440-1449,2006.	キシナホ酸サルメテロール喘息に対する吸入ステロイド薬との併用効果.	大田 健	内科
医薬ジャーナル 42(8):2144- 2153,2006	喘息コントロールテストの有用性 喘息患者を対象としたインターネット調査による.	大田 健	内科
アレルギー・免疫 13(4):39-43,2006	経口の喘息治療薬を中心とした治療法からキシナホ酸サルメテロールとプロピオン酸フルチカゾン併用療法に切り替えた場合の喘息治療目標への到達割合の検討.	大田 健	内科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
アレルギー・免疫13(4): 1440-1449,2006	気管支喘息患者に対するキシナホ酸サルメテロールとプロピオン酸フルチカゾン併用治療における喘息エピソード並びに喘息QOLに対する効果の検討(FIRST study).	大田 健	内科
アレルギー・免疫 13(4):548-554,2006	成人気管支喘息における感作アレルゲンの全国調査.	大田 健	内科
Int Arch Allergy Immunol 140 (suppl. 1): 28-34, 2006.	The role of platelet-derived growth factor receptor in eotaxin signaling of eosinophils.	Adachi T	内科
Annual Review 呼吸器: 44-50, 2006.	好酸球と呼吸器疾患.	足立哲也	内科
Medical Postgraduates 44(4):67-72,2006	Opsonic activity assessment of human intravenous immunoglobulin in preparations against <i>Candida albicans</i> .	斧 康雄	内科
Catheter Cardiovascular Intervention,Vol.68 (1):1-7,July 2006	Impact of 16-slice computed tomography in percutaneous coronary intervention of chronic total occlusions.	Yokoyama N	循環器科
Circulation,Vol.115 (1):e1-2.No abstract available,Jan 2007	Image in cardiovascular medicine.Serial assessment of liquefaction necrosis of mitral annular calcification by echocardiography and multislice computed tomography.	Yokoyama N	循環器科
Journal of Affective Disorders 90:29-35, 2006.	Prediction of major depression in Japanese adults: somatic manifestation of depression in annual health examinations.	Nakao M	心療内科
Bulletin of the World Health Organization 84:492-493, 2006.	The suicide epidemic in Japan and strategies of depression screening for its prevention.	Nakao M	心療内科
Psychiatry and Clinical Neuroscience 60:219- 225, 2006.	Somatic symptoms for predicting depression: one-year follow-up study in annual health examinations.	Nakao M	心療内科
Psychiatry and Clinical Neuroscience 60:605- 610, 2006.	Clinical application of paroxetine for tapering benzodiazepine use in non-major-depressive outpatients visiting internal medicine clinic.	Nakao M	心療内科
Public Health 120:373- 379, 2006.	A comparative study of behavioral, physical, and mental health status between term-limited and tenure-tracking employees in a population of Japanese male researchers.	Nakao M	心療内科

小計 12